土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

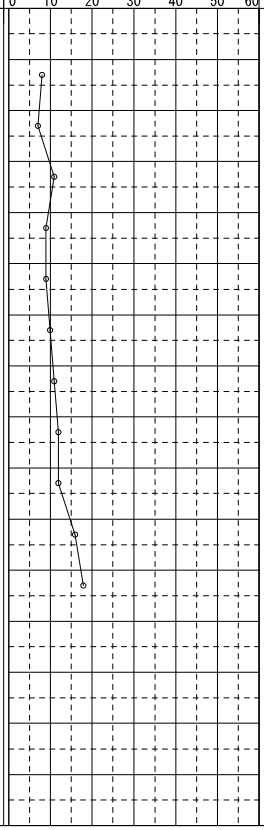
調査名	主要地方道　矢野安浦線　道路改良事業に伴う測量設計業務委託(熊野バイパス2工区)
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	R4-Bor.No.4	調査位置	広島県安芸郡熊野町			北緯	34° 19' 59.8980"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年11月24日～ 令和4年11月25日			東経	132° 35' 14.6990"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 243.61m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	11.00m	使用機種	試錐機：東邦D-0	エンジン：ヤンマーNF10D		ポンプ：東邦BG-3C	

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	241.91	1.70		シルト混り砂		赤灰	rd2		中～粗砂主体。細粒分を10～20%含む。	11/28 無し
2～11	232.61	11.00		礫混り砂		赤灰	rd3		流れマサを主体とした段丘堆積物。 中～粗砂主体。 φ2mmの礫を10%程度含む。 全体に細粒分を少量混入する。 全体に均質である。	

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
8	1.15	2	3	3	8/300		
7	1.45 / 2.15	2	2	3	7/300		
11	2.45 / 3.15	3	4	4	11/300		
9	3.45 / 4.15	2	3	4	9/300		
9	4.45 / 5.15	2	3	4	9/300		
10	5.45 / 6.15	3	3	4	10/300		
11	6.45 / 7.15	3	4	4	11/300		
12	7.45 / 8.15	3	4	5	12/300		
12	8.45 / 9.15	3	4	5	12/300		
16	9.45 / 10.15	4	6	6	16/300		
18	10.45 / 11.15	4	6	8	18/300		
	11.45						

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				11/24
				11/25